

ボログルコン酸カルシウム注射剤

ニューグロンプラス

【本質の説明又は製造方法】

本剤は、ボログルコン酸カルシウムにグリセロリン酸カルシウム、塩化マグネシウムを配合した注射剤です。ボログルコン酸カルシウムは、牛の乳熱のような大量のカルシウムを必要とする疾病の治療に適しています。乳熱発症時に低リン血症を併発しているときはカルシウム剤の治療に反応しにくいいため、リンの補給は有用です。また、マグネシウムの補給は、産前産後起立不能症などの際によくみられる低マグネシウム血症の改善に有効です。

【成分及び分量】

本品 100 mL中

有効成分	含量
ボログルコン酸カルシウム	25 g
〔グルコン酸カルシウム水和物 ホウ酸〕	〔22.5 g 2.5 g〕
グリセロリン酸カルシウム	2 g
塩化マグネシウム	2 g

【効能又は効果】

牛：低カルシウム血症、低マグネシウム血症、乳熱、産前・産後起立不能症

【用法及び用量】

1 頭当たり下記の量を 1 日量とし静脈内に注射する。
牛：200～500 mL

＜休薬期間＞

本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。

牛：3日間

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- 本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤投与後、下記の期間は食用に供する目的で出荷等を行わないこと。
牛：3日間
- 本剤は、獣医師の指導の下で使用すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- 本剤の外観又は内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
- 本剤の使用後の残液は決して使用しないこと。
- 本剤は他の薬剤と混合して使用しないこと。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光、高温及び凍結を避けること。
- 注射器具は滅菌されたものを使用すること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。

- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。
- 本剤が誤って使用者等の眼、鼻、口等に入ったときは、直ちに水で洗浄やうがい等を行い、医師の診察を受けること。

（牛に関する注意）

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

（取扱い上の注意）

- 寒冷時に大量を静脈注射する場合には、本剤を体温程度に温めること。

（専門的事項）

重要な基本的注意

- 本剤の投与時には患畜を安静にして、出来るだけ緩徐に注射すること。
- 本剤の投与量は血清カルシウム及び血清マグネシウム量を調べて決定することが望ましい。
- 高用量の注射では、心機能に注意し、異常がみられたら一時投薬を中止し、正常に戻ってから再投与すること。

【薬理学的情報等】

（薬物動態）

- 成牛に25.5%のボログルコン酸カルシウム 1 mL/kgを30分かけて静脈内注射すると、血清中カルシウム濃度は注射終了の15分後に220 µg/mLに上昇し、2時間後に150 µg/mLまで低下し、その後正常範囲内を推移した。
- グルコン酸はグルコースの代謝経路であるペントースリン酸サイクルにより容易に代謝され、あるいは、尿中に排泄される。

【包装】

500 mL×30ポリボトル

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術
〒102-0073 東京都千代田区九段北一丁目11番5号
TEL 03-3264-7559

製造販売業者

共立製薬株式会社
東京都千代田区九段南 1-6-5

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。